

## プレスリリース

# 21世紀の新しい日本の酒「米米酒」(コメメシ) 発売

平成 13 年 6 月 15 日  
日本酒ライスパワー・ネットワーク

## 概 要

日本酒ライスパワー・ネットワークは、約 1 年半の開発期間を経て、「胃潰瘍の予防、治療に効果のある」米エキスを原料とする胃にやさしい低アルコール飲料「米米酒」(コメメシ) を発売することになりました。

「米の旨さは知っている。米の力は誰も知らない。」をキャッチフレーズとするこのお酒は、日本古来の醸造発酵技術が生み出した米の酒 - 日本酒と、その伝統技術を駆使して米から引き出された不思議なパワーをもつ米エキス「ライスパワーエキス」の出会いから生まれたもので、それが「米米酒」というネーミングの由来となっています。

「米の旨さと米の力」を最大限に引き出した「米米酒」は、「21 世紀の新しい日本の酒」です。

## 新製品のアウトライン

< 品名 > 米米酒 (コメメシ)

< キャッチフレーズ > 「米の旨さは知っている。米の力は誰も知らない。」

< 製品のタイプ > 雑酒またはリキュール

<特長>      原材料： 米、麹、米エキス

                 アルコール度数： 8%以下

                 容器： 500ml 白色ビン  
                 ( 静電塗装白色ビンの使用は、わが国では醸造酒として初めてである。)

                 香味： 酸味と甘味がほどよくバランスして、ほのかな桃の香を  
                 発する。

                 価格： 1,000 円 ~ 1,200 円

                 ラベル： 表裏ともに統一デザインを採用している。

                 抗潰瘍エキスの含有量： 100g ( 酒 100ml 当り 20g )

## 参 考

日本人にとって最も身近な天然素材(米)を原料とし、副作用のない「生体機能健全化効果」をもつ「米米酒」のようなアルコール飲料の開発は、酒類の歴史上類例のないことであります。

去る3月に幕張で開催された「国際食品・飲料見本市」(FOODEX)において、この「米米酒」を出品し試飲に供したところ多くの来場者の関心を集め、アンケート回答者約600名のうち7割の人々が「買ってみたい」と回答していました。

このように新製品「米米酒」は、今後において消費者満足度の高い酒類となることが予想され、したがって日本酒需要の縮小に苦しむ会員企業に業績回復効果をもたらし、また伝統日本酒の販売にもプラスの効果を及ぼして経営活性効果を

もたらす可能性を秘めております。

そうした意義が認められて、日本酒ライスパワー・ネットワークによるこの新製品開発が、「生体機能健全化酒類の開発による経営革新」事業として平成 12 年 10 月、「中小企業経営革新支援法」に基づく大蔵大臣承認事例の第 1 号となりました。

### 「米米酒」開発の経緯

#### 1993 年

勇心酒造・徳山孝社長（農学博士）と富山医科薬科大学・荻田善一名誉教授（当時）は、抗かいようエキスの共同開発に成功し、同年、＜第 10 回和漢医薬学会大会＞において同教授から「米エキスの抗潰瘍効果について」というテーマで発表された。

徳山氏は、この米エキスを「ライスパワーエキス No.101」と命名した。

#### 1993 - 1998 年

「ライスパワーエキス No.101」の臨床試験の実施および同エキスの量産技術の開発など地道な作業が続けられた。

#### 1999 年

1984 年来、主として低アルコール純米酒の開発を行ってきた「コンポ・バムバム」を発展的に解消して日本酒ライスパワー・ネットワークが発足したことに伴い、同年 10 月以降「抗潰瘍酒開発プロジェクト」がスタートした。参加各社は雑酒・リキュールの試験免許申請を行うとともに、No.101 エキスを原料とするアルコール飲料の共同開発に着手した。

12 月には、「抗潰瘍酒の開発」についてプレス発表を行った。

#### 2000 年

- ・ 8 - 12 月： ネーミング、ラベル・デザイン、瓶の選択について、専門機関に委託した。
- ・ 9 月： 試作品について試飲会が行われ、雑酒については「桃の香り」

を発売するタイプに絞って商品化を進めることになった。

2001年

- ・1月： ネーミング、ラベル、瓶の決定。
- ・1-5月： 白色ビンの紫外線透過、ライン適性等に関するテストおよび改良が繰り返し行われた。また、その間に各社およびグループとしてのマーケティングについて検討が行われた。

### 抗かいよう米エキスとは

抗潰瘍米エキス「ライスパワーエキス No.101」の開発経緯およびその効果については、資料『米米酒・開発物語』を参照。

### 抗潰瘍酒を発売する蔵元

6月に「米米酒」の発売を行う蔵元は、以下の7社である。

一ノ蔵（宮城県）	「一ノ蔵」
千代寿とらや酒造（山形県）	「千代寿」
武重本家酒造（長野県）	「御園竹」
富久錦（兵庫県）	「富久錦」
嘉美心酒造（岡山県）	「嘉美心」
賀茂泉酒造（広島県）	「賀茂泉」
梅錦山川（愛媛県）	「梅錦」

また、やや遅れて「米米酒」の発売を予定している蔵元は、以下の4社である。

一本義久保本店（福井県）	「一本義」
増田徳兵衛商店（京都府）	「月の桂」
神戸酒心館（兵庫県）	「福寿」
一宮酒造（島根県）	「石見銀山」

日本酒ライスパワー・ネットワークとは

設立：1999年（平成11年）9月

会員企業：32社

代表幹事： ・株式会社一ノ蔵            会長 鈴木和郎  
                  ・富久錦株式会社            会長 稲岡輝彦  
                  ・嘉美心酒造株式会社        社長 藤井晃生  
                  ・勇心酒造株式会社           社長 徳山 孝

（その他、グループの沿革、理念等については、パンフレット参照。）

<問合せ先> 日本酒ライスパワー・ネットワーク事務局  
                  担当：大野、加藤  
                  TEL. 03-5282-2738  
                  FAX. 03-5282-2739  
                  ホームページ： <http://www.sake-ricepower.gr.jp>